

日本図書館情報学会会報

No. 143

2011年9月

日本図書館情報学会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学教育人間科学部教育学科野末研究室内

E-mail : tnozue@ephs.aoyama.ac.jp

学会ホームページ : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

2011年度臨時総会のお知らせ

会員各位

会長 根本 彰

2011年度日本図書館情報学会臨時総会を下記のとおり、第59回研究大会の第2日に開催いたしますので、ご案内申し上げます。会員各位におかれましては、多数ご出席くださいますようお願いいたします。なお、総会の議事終了後、同会場において、2011年度学会賞・奨励賞・学会活動貢献賞の授与式を行います。

記

- 日時 2011年11月13日(日) 13:00~14:00
会場 日本大学文理学部キャンパス3号館5階3505教室
議事 1. 2011年度定例(通信)総会の投票結果について
2. 委員会報告
3. その他

2011年度定例(通信)総会の投票結果

有権者数 641
投票総数 308
有効投票数 308 (内訳: 郵送投票 108, 電子投票 201, 重複 1)
有効投票率 48.0% (参考: 2010年度有効投票率 46.3%)
無効投票数 0

		賛	否	白票
第1号議案	2010年度事業報告	307	1	0
第2号議案	2010年度決算報告・会計監査報告	307	1	0

第3号議案	2011年度事業計画案	307	1	0
第4号議案	2011年度予算案	307	1	0

日本図書館情報学会規約第11条第1項(全正会員の5分の1)により総会は成立し、第11条2項(出席会員の過半数)により、全議案は承認され、成立しました。

正会員から寄せられたご意見・ご質問

定例(通信)総会のご意見欄に、正会員各位から下記のようなご意見・ご質問が寄せられました。貴重なご意見をありがとうございます。今後の学会活動の参考とさせていただきます。(常任理事会)

- (1) 【ご意見】第2号議案に関連した質問です。『日本図書館情報学会誌』第56巻1号の印刷費が他の号の4分の1程度になっていることが不思議でした。何か事情があるのでしょうか、それを備考に示すなどされるとよかったですかと思いました。

【回答】2008年度から学会誌印刷費の割引が続いていましたが、この号で終わったためです。経緯については、2008年度から2010年度の会報6月号冒頭にある会長挨拶で説明していますので、ご御覧ください：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/publications_5.html (事務局)

- (2) 【ご意見】検定試験について、受験者数が一定の規模に達しなければ廃止も検討するとの宣言がございましたが、その目安となる受験者数はどのくらいと考えているのでしょうか。

【回答】500人と考えています。(会長・図書館情報学教育特別委員会委員長)

- (3) 【ご意見】コスト面も含めて、担当の方の負担が軽減するのであれば、事務局の外部委託に賛成です。あわせて学会当日の運営等も外部委託が可能なら、委託してもよいと思います。今後、条件が合えば、学会誌はEJオンリー、会報も電子版のみの発行と送付でもかまわないと思います。

【ご意見】電子投票・電子選挙を行うことを考えたときに、会員の方の電子メールは必須にしてもよいのではないのでしょうか。

【回答】事務局の外部委託については、現在、具体化に向けて検討を進めております。(事務局)

【回答】春季研究集会・研究大会の運営等の外部委託、学会誌・会報の完全電子化(印刷版の廃止)、連絡手段としての電子メールの必須化については、中長期的な課題として検討していきます。ありがとうございます。(常任理事会)

- (4) 【ご意見】学会は、なるべく東京周辺でお願いします。

【回答】隔年で春季研究集会と研究大会のいずれかを関東以外で開催することを基本方針として開催地を決定しております。(常任理事会)

- (5) 【ご意見】学会誌電子化費用21,000円が未使用なのはなぜか、また、この21,000円は何に使うために予算計上されているのか知りたいと思います。

【回答】学会誌を学会保存用として電子化するための費用として計上されていたものです。昨年度の理事会において、NIIにて電子化が行われているので不要ではないかとの意見が出されたため、予算の執行がなされませんでした。(常任理事会)

- (6) 【ご意見】会費未納者への対応を厳しく。会員退会による会員数減少への対応。図書館情報学検定試験の結果の報告があるといいのですが。

【回答】会費未納者については適宜、督促を行なっております。未納者が減少するよう、さらに工夫を凝らしていきたいと思っております。(事務局)

【回答】会員数の減少、新入会員の拡大については、対応策を検討していきます。(常任理事会)

【回答】図書館情報学検定試験については、報告書を発行し、ウェブでも公開していますので、ご

覧ください。(図書館情報学教育特別委員会委員長)

(7) 【ご意見】長期的な話ですが、全体にこの規模の学会としては、背丈に合わず事業が多すぎるように思います。スリム化して、研究に集中するのがよいのではないかと思います。

【回答】中長期的な課題として検討していきます。ありがとうございました。(常任理事会)

なお、議案について修正点をご指摘いただきました。ありがとうございました。次のとおり、お詫びして訂正させていただきます。

第1号議案 2010年度事業報告 19. 委員会の開催 (3) 研究委員会

誤：第1回 2011年7月17日(土) 正：第1回 2010年7月17日(土)

誤：第2回 2011年3月19日(土) 正：第2回は東日本大震災の影響で開催せず

その他、新役員・事務局への励ましや期待、図書館情報学検定試験や電子投票に対する賛同のご意見などを頂戴しました(16通)。ありがとうございました。

2011年度研究助成の決定

2011年度の研究助成について6件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。

審査は、例年の手順・方法を踏襲し、予め評価基準を定めた基準に従って研究委員が採点した結果を総合して、助成対象を決定することにしました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある委員長を外して行いました。

評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の6点を参考に、5段階で総合点をつけ、総合点の平均が3点以上を助成の最低基準としたうえで、議論の結果、下記の3点を助成対象としました。(研究委員会)

(1) 研究代表者：川原亜希世(近畿大学短期大学部)

研究題目：省令科目と司書講習の成立の経緯について

助成額：30万円

(2) 研究代表者：高田淳子(神奈川県立図書館)

研究題目：公共図書館における情報リテラシー教育の枠組み－現況調査を基に－

助成額：14万円

(3) 研究代表者：大場博幸(常葉学園短期大学)

公共図書館の資料選択における中立性の根拠

助成額：24万円

『図書館情報学用語辞典』改訂にあたってのお願い

図書館情報学用語辞典編集委員会は、2007年に刊行された同辞典第3版の改訂作業に着手いたしました。改訂にあたり、会員の方々へ第3版についての意見を伺い、新しく第4版に収録することが望ましい用語を提案いただきたいと思います。

どのような形式でも構いませんので、以下のご意見を下記宛にお送りください。締切りは2011年11

月 20 日といたします。

- ・第 3 版へのご意見
- ・第 4 版への収録提案用語
- ・削除すべき語
- ・修正すべき箇所

なお、新しく収録する用語については、第 3 版同様、執筆者の公募を行う予定です。

郵便：〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 吉田右子

電子メール：yyoshida@slis.tsukuba.ac.jp

(図書館情報学用語辞典編集委員会)

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。(編集委員会)

投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (mamiko@slis.tsukuba.ac.jp)

投稿規程：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/journal/c_reg_100301.pdf

執筆要綱：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/journal/w_out_100601.pdf

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (tnozue@ephs.aoyama.ac.jp) にてご連絡ください。(総務委員会)

会員情報変更・退会について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトの「会員情報変更申請書」(http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/membership_3.html)にご記入いただき、事務局までメールもしくは郵送でお送りください。

なお、退会については特に書式はありませんので、メールもしくは郵送にて、退会理由を併記のうえ、事務局までご連絡ください。(事務局)

会報の訂正

会報の前号 (No.142) に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。(事務局)

2011～13 年度委員会名簿 学会賞選考委員会

誤：山本 順一 (委員長) 正：山本 順一 (桃山学院大学)

学会受領資料

- ・大橋香奈, 大橋裕太郎『フィンランドで見つけた「学びのデザイン」：豊かな人生をかたちにする 19 の実践』フィルムア社, 2011.
- ・日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語辞典』(韓国語版), Taeilsa Press,

2011.

会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

なお、上記には前号発行以降に送付いただいた図書のみを挙げております（著者名の五十音順）。逐次刊行物等については、次号以降に掲載させていただく予定です。（事務局）

図書館情報学検定試験へのご協力をお願い

会員各位

会長・図書館情報学教育特別委員会委員長
根本 彰

本学会は、今年度以降も図書館情報学検定試験を継続して実施します。この試験は、図書館学あるいは図書館情報学を学んだ人が自己評価に用いるとともに、図書館関係の就職の際の評価手段となる位置づけをめざして2007年から開始したものです。昨年につくば、東京、大阪の3会場で240人ほどの受験者を得て実施しました。今年はさらに名古屋会場を増やして11月27日（日）午後実施します。学会ホームページ（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>）にある検定試験のページをご参照のうえ、多くの方にご参加いただきたくご案内申し上げます。特に大学で教えていらっしゃる会員の皆さまのもとに試験のチラシを送らせていただきましたので、学生さんに受験をお勧めください。大学ごとの成績の集計表を提供することもできますので、その旨お申し付けください。

本学会がこの試験を実施する意義として、最終的には図書館法に基づく司書養成と図書館情報学専門教育をつなぎ社会的な評価に耐える教育課程にすることがあります。それは今すぐ実現できることではありませんが、ひとまずこの領域において制度として定着させることが必要です。会員の皆様には試験についてご理解をいただき、率先してご参加いただくことが必要です。詳しくは、本年3月に図書館情報学検定試験実施検討委員会が、『図書館情報学検定試験準備試験報告書』（http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/kentei/110306Kentei_report.pdf）を作成し、試験についての分析と解説を行なっていますのでご覧ください。

会報の前号に書きましたように、この事業を次期以降に継続させるためには2年後に最低500人の受験者を確保することが必要です。この目標値を達成することは容易ではありません。繰り返しになりますが、会員の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げる次第です。